

ハッピー・スマイル No.1

<こあら組>

新入園児のAちゃんが泣いていると、いつもにこにこ笑顔のSくんがハイハイでAちゃんの側へやって来ました。「うーうー」とおしゃべりして、にこっと笑いかけると…あら不思議。Aちゃんの涙はとまり、ほっぺをゆるませてにこっと笑顔を見せていました。

赤ちゃんの笑顔はいつでもどんな時でも笑顔にさせてくれる魔法のようですね。



<うさぎ組>



鯉のぼりが園庭で風にゆられて泳ぎ始め、子どもたちはくぎつけです。

大きい鯉のぼりと乳児園庭に小さい鯉のぼりがあることに気付いたKくん。保育士に大きい鯉のぼりを指さして、両手いっぱい広げて“大きい鯉のぼりがあるよ”と教えてくれます。すると今度は小さい鯉のぼりを指さして、つまむしぐさを見せながら目を閉じて“小さい鯉のぼりもあるよ”と教えてくれます。大小の違いをKくんなりに保育士に伝えようと身振りで一生懸命伝える姿に微笑ましく思いました。

<ぱんだ組>

おやつきな粉トーストを食べ終わり、保育士にだっこしてもらおうとしたYくん。保育士にぎゅっとつかまるとYくんについていたきな粉が保育士の服についてしまいました。

「あっ…」と思わず声を出すと、すぐにYくんは保育士の服をパンパンとはらってくれ、「おっけー！」とOKポーズと満面の笑顔を見せられました。



新年度が始まり、3週間。はじめての保育園生活にちょっぴり涙の出る子、ひとつ大きなクラスになってわくわくしている子と様々ですが、みんなお外が大好きです。お天気のいい日には園庭でしっかり遊び、ピオトープのメダカさんを見て、「めだか～の学校は～」と歌ったり、泳いでいる鯉のぼりを見て、「やねよーりーたーかーい こいのーぼーり～」と口ずさんでいる子もあり、笑顔で遊ぶ姿がたくさんみられるようになりました。そんな子どもたちのつづきや、かわいいエピソードを紹介します。

<赤組>



ズポンをはこうと思ったら「ズポンがでんぐりがえりしとる」と困っているHちゃん。ズポンが裏返しになって苦戦するHちゃんでした。

園庭で緑の実を見つけたD君。嬉しそうに保育士の所に持ってきて、「さくらんぼ！風に吹かれて落ちてきた」とひとこと。大切そうに手のひらで包み込んでいました。



園庭の鯉のぼりをいつも見ているMくん。お昼寝から起きて、一番に外の鯉のぼりを見て「みてー！なかよし」とにっこり。見てみると二つの鯉のぼりが寄り添っていました。



<ひまわり組>

動物園に行く遠足をととても楽しみにしていたAちゃん。お部屋で動物クイズをした時のこと。

保育士が「ライオンの鳴き声は」と聞くと

「ガオー!!!」と元気よく答える子どもたち。

次に「きりんさんは？」と聞くと、しばらく考え込んで「うーん…キリリリン♪よ！」とAちゃんがかわいく答えてくれました。

動物園に行って「キリリリン」の鳴き声、聞けたかなあ？



<こすもす組>

園庭に出る前にみんなでチュウリップの歌をうたったSくん。外に出ると花壇にいろいろな色のチュウリップが咲いているのを発見!!

それを見て「さいた～さいた～ちゅうりっぷのはなが～ならんだあ～ならんだあ～あかしろむらさき～♪」と咲いていた色に合わせて歌いながらほほえんでいました。



年長組になって初めてつどいの広場へ遊びに行き、大喜びのHちゃん。シロツメ草やなすななどのお花をたくさん摘んでいました。「あっ！あんなところにおおきなたんぼぼみつけた！」と言って嬉しそうに走って行き、しばらくすると「ひまわり組さんのぼうしだった！」

と照れくさそうに笑いながら戻ってきたHちゃんでした。

